

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月20日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5/6号機 増設淡水化装置の漏えい検出器の誤動作について】 5/6号機 増設淡水化装置の漏えい警報が発生し、装置の自動停止を当直員が確認。 現場確認の結果、検出器周りに水がないため、漏えい検出器の誤動作と推定。 漏えい警報はリセット済み。 リセットにより装置が運転可能となったため、滞留水移送も可能となった。 今後、点検・修理予定。	GⅢ	7月14日
2	【5/6号機 滞留水貯留設備のFエリアI4タンク水位計の不具合につて】 5/6号機 滞留水貯留設備のFエリアI4タンク水位計下限逸脱警報が発生し、水位計の指示下限を当直員が確認。 現場確認したところ、I4タンクからの漏えいなしを確認。 また、Iタンクは7基で構成され、それぞれの連結弁が「開」運用のため、他タンクの水位計の水位に変動がないことをもって、I4タンクの水位変動がないことを確認。 保守ツールにて「電気回路故障」が確認され復旧が出来ないため、今後、点検・修理予定。	GⅢ	7月16日